

法人税 確定申告書（ 年分・平成〇〇年〇月〇日 事業年度分・ ）に係る

平成△△年△月△日

税理士法第33条の2第1項に規定する添付書面

33の2①

		※整理番号	
税理士又は 税理士法人	氏名又は名称	税理士 国税 太郎 ⑩	
	事務所の所在地	東京都千代田区霞ヶ関〇-〇-〇 電話 (03) 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇	
書面作成に 係る税理士	氏 名	税理士 国税 太郎 ⑩	
	事務所の所在地	東京都千代田区霞ヶ関〇-〇-〇 電話 (03) 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇	
	所属税理士会等	東京 税理士会 〇〇 支部 登録番号 第 〇〇〇〇〇号	
税務代理権限証書の提出		<input checked="" type="checkbox"/> (法人税・消費税) ・ 無	
依 頼 者	氏名又は名称	株式会社 〇〇商事 代表取締役 〇〇 一郎	
	住所又は事務所の所在地	東京都千代田区霞ヶ関〇-〇-〇 電話 (03) 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇	
私（当法人）が申告書の作成に関し、計算し、整理し、又は相談に応じた事項は、下記の1から4に掲げる事項であります。			
1 自ら作成記入した帳簿書類に記載されている事項			
帳簿書類の名称		作成記入の基礎となった書類等	
依頼者が自ら記帳した会計伝票に基づき、コンピュータ処理により作成した仕訳帳、総勘定元帳、試算表、貸借対照表、損益計算書。期末整理の会計伝票のみ当方作成。		会計伝票、現金出納帳、預金通帳、証憑書綴、請求書控、領収書控、給与台帳、受取手形帳、借入金返済明細書、残高証明書。	
2 提示を受けた帳簿書類（備考欄の帳簿書類を除く。）に記載されている事項			
帳簿書類の名称		備 考	
なし		なし	
※事務 処理欄	部門	業種	
		意見聴取連絡事績	
		年月日	税理士名
		・ ・	
		事前通知等事績	
		通知年月日	予定年月日
		・ ・	・ ・

3 計算し、整理した主な事項			
	区 分	事 項	備 考
(1)	完成工事高 完成工事未収入金	請求書控及び領収書控に基づき完成工事高の取引金額及び計上時期の確認を行いました。	請求書控、領収書控、完成工事未収入金集計表、会計伝票綴
	材料仕入高 外注費 工事未払金	請求書控、領収書控及び預金通帳に基づき請求内容と決済状況の確認を行うとともに資本的支出に該当すべきものがないか確認しました。	請求書控、領収書控、預金通帳、工事未払金集計表、会計伝票綴
	販売費及び一般管理費、製造原価	備品、消耗品費、修繕費、車両経費の中に資本的支出や一括償却資産に該当するものがないか検討しました。また、交際費以外の科目に交際費に該当するものがないか検討しました。	証憑書綴、請求書控 会計伝票綴
	固定資産売却損	車両運搬具の買換につき、取得価格及び下取り価格を注文書及びクレジット明細書により検討し、売却損を適正に計上しました。	注文書、クレジット明細書 会計伝票
(2)	(1)のうち顕著な増減事項	増 減 理 由	
	完成工事高及び外注費	平成〇年〇月及び〇月に大型工事を受注したため、対前年比120%となり、それに伴い外注費は対前年比201%となりました。	資本的支出や一括償却資産に該当するものがないか、また、他科目交際費に該当するものがないか等について税理士が関係書類から検討しており、調査省略等の参考となる。
(3)	(1)のうち会計処理方法に変更等があった事項	変 更 等 の 理 由	
	なし	なし	

4 相談に応じた事項	
事 項	相 談 の 要 旨
役員報酬	<p>役員報酬の増額について相談を受けましたので、役員報酬の総額及び各役員の支給限度額の範囲内において取締役会議の承認を受け、事業内容に照らし相当であれば、損金算入できる旨を回答しました。</p>
	<p>役員報酬の具体的な検討事項が記載されており、調査省略等の参考となる。</p>
5 その他	
<p>総合所見</p> <p>日々の取引については、整然かつ明瞭に会計処理されており、原始記録の保存状態も良好である。また、請求書、領収書等の証拠書類についても、整然と保管されている。決算に当たっては、改めて全ての損益科目と資産、負債科目について内容を確認した。</p> <p>日々の記帳の適正性の確認及び決算整理事項が適正であること等を勘案して、この申告は妥当であると認められる。</p>	